



平成二十一年十二月一七日(木)、暖かい陽気に恵まれ、京浜会、クリスマス会が行われました。沢山の御家族の方に来ていただき、盛大に行われました。今年の先頭バッターは、昨年より行わ

れたお誕生日会でもおなじみの、志越副院長による松ケンサンバ！楽しい雰囲気の中で行われました。続きましては、院長先生の「アンチエインド・メロデー」、静粛な独唱でクリスマススムードも高まっていきました。お次は、今年で5回目を迎えました「青山学院高等学部聖歌隊！」聖歌隊の衣装を見にまとい、「諸人こぞりて」を歌いながらの入場に始まり、「クリスマス嫌いの御姫様」の寸劇が行われました。劇の内容は勘違いからクリスマスが嫌いになった御姫様を・・・で、心温まる内容で、とても盛り上がりしました。その後は、高齢者の方にも喜ばれそうな童謡、そして毎年恒例になりました高校生の生徒達から患者様へ、手渡しでのクリスマスカードのプレゼントで、会場はとても暖かな雰囲気になりました。

た。最後は、参加者全員による「きよしこのよる」の合唱でフィナーレを迎えました。

十二月二十二日(火)に行われたキャンドルサービスも、静粛なる賛美歌(職員による)のもと、行われました。

来年も患者様、御家族皆様の笑顔を力に、職員一同がんばります。

編集室 南部 一昭、

“クリスマス会を振り返って”

昨年十二月クリスマス会の実行委員長を任せられ、不慣れな私には各部署の方々のアドバイス、アイデア、助言が



大変役立ち心強いものになりました。恒例の青山学院高等学部聖歌隊のコンサートが行われ、中でも「ふるさとの四季」のメドレーでは患者様の口元が動き、会場の皆様も懐かしさが自然に蘇り歌声となつて盛り上がり今回も皆様の心に暖かい物を残して戴きました。院長、副院長の歌声とパフォーマン

スも素晴らしく見逃せませんでした。実行委員長の力不足で十分な準備が出来ませんでしたが、委員の協力で無事に会が終わわり、ホットしています。有難う御座いました。

平成二十一年度クリスマス実行委員長

岡村 光子